

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書
(自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人エミフル
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 福岡市中央区大名一丁目14番45号Q i z 天神3階
- (3) 設立認可年月日 平成 5年 2月23日
- (4) 設立登記年月日 平成 5年 3月 2日
- (5) 役員及び評議員 該当なし

2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種類	施設の名称	施設の医療機関コード又は介護事業所番号	開設場所	許可病床数
診療所	エミナルクリニック新宿西口院	なし	東京都新宿区西新宿一丁目4番1号 プリンズビル7階	
	エミナルクリニック和歌山院		和歌山県和歌山市美園町五丁目1番地8 山榮ビル2階	
	エミナルクリニック熊本院		熊本県熊本市中央区手取本町4番17号TETORI HONCHO SAMURAI BLD. 8階	
	エミナルクリニック宮崎院		宮崎県宮崎市橘通西三丁目10番36号 ニシムラビル4階	
	エミナルクリニック鹿児島院		鹿児島県鹿児島市東千石町14番1号 巴里屋ビル7階・8階	

エミナルクリニック広島院	広島県広島市中区紙屋町二丁目 3番4号 広中ビル3階・4階・ 5階
エミナルクリニック徳島院	徳島県徳島市寺島本町東二丁目 29番地徳島電気ビル別館3階
エミナルクリニック高松院	香川県高松市丸亀町7番地 16 丸亀町グリーン2階
メンズエミナルクリニック福岡天神院	福岡県福岡市中央区大名一丁目1 4番45号 Q i z天神3階
エミナルクリニック松山院	愛媛県松山市湊町五丁目4番 25号 日切ビル4階
エミナルクリニック渋谷駅前院	東京都渋谷区道玄坂一丁目3番 1号 渋谷駅前会館8階
エミナルクリニック姫路院	兵庫県姫路市駅前町247番 地 御幸苑ビル3階
エミナルクリニック長崎院	長崎県長崎市浜町3番20号 浜町くまビル3階
エミナルクリニック町田院	東京都町田市原町田六丁目7番 8号 T i p' s町田ビル3階
エミナルクリニック高知院	高知県高知市本町二丁目2番2 9号 畑山ビル3階
エミナルクリニック立川院	東京都立川市曙町一丁目14 番17号 旗野ビル5階
エミナルクリニック長野院	長野県長野市大字南長野末広町1 356番地 N a c s末広3階

エミナルクリニック佐世保院		長崎県佐世保市下京町9番13号 DKビルⅡ 2階・3階	
エミナルクリニック岡山院		岡山県岡山市北区幸町8番20号 AQUAテラス幸町3階・4階・5階	
エミナルクリニック福岡天神2号院		福岡県福岡市中央区天神二丁目4番12号 天神サザンビル3階	

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

該当なし

(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

該当なし

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和6年1月17日	診療所拡張、定款の一部変更、事業計画及び予算の変更設定
令和6年2月20日	令和5年度決算の決定
令和6年6月6日	新規診療所開設、理事選任、定款の一部変更、事業計画及び予算の変更設定
令和6年7月2日	令和6年度、7年度及び8年度の事業計画及び収支予算変更の決定

様式 2

法人名 医療法人エミフル
所在地 福岡県福岡市中央区大名一丁目14番45号Q i z 天神3階

※医療法人整理番号 0 0 9 4 1

財 産 目 録
(令和 6 年 1 2 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	6,309,675 千円
2. 負 債 額	6,285,619 千円
3. 純 資 産 額	24,056 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	4,957,723
B 固 定 資 産	1,350,943
C 繰 延 資 産	1,009
D 資 産 合 計 (A + B)	6,309,675
E 負 債 合 計	6,285,619
F 純 資 産 (C - D)	24,056

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 3 - 2

法人名 医療法人エミフル
所在地 福岡県福岡市中央区大名一丁目 1 4 番 4 5 号 Q i z 天神 3 階

※医療法人整理番号 0 0 9 4 1

貸 借 対 照 表
(令和 6 年 1 2 月 3 1 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	4,957,723	I 流 動 負 債	6,285,619
II 固 定 資 産	1,350,943	II 固 定 負 債	0
1 有 形 固 定 資 産	1,073,288	(うち医療機関債)	(0)
2 無 形 固 定 資 産	2,584	負 債 合 計	6,285,619
3 そ の 他 の 資 産	275,071	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)	(0)	科 目	金 額
III 繰 延 資 産	1,009	I 基 金	10,000
		II 積 立 金	14,056
		(うち代替基金)	(0)
		III 評価・換算差額等	0
		純 資 産 合 計	24,056
資 産 合 計	6,309,675	負債・純資産合計	6,309,675

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4－2

法人名 医療法人エミフル
所在地 福岡市中央区大名一丁目14番45号Q i z 天神3階

※医療法人整理番号 00941

損 益 計 算 書
(自 令和 6年 1月 1日 至 令和 6年 12月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	7,553,970
2 事業費用	7,540,685
本来業務事業利益	13,285
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業利益	13,285
II 事業外収益	34,784
III 事業外費用	6,210
経常利益	41,859
IV 特別利益	0
V 特別損失	▲ 8,575
税引前当期純利益	33,284
法人税等	10,083
当期純利益	23,201

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

※医療法人整理番号	0	0	9	4	1
-----------	---	---	---	---	---

法人名 医療法人エミフル
所在地 福岡県福岡市中央区大名一丁目14番45号Q iz天神3階

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人エミフル

理事長 小池 仁 殿

私は、医療法人エミフルの令和6会計年度（令和6年1月1日から令和6年12月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 7年 2月 20日

医療法人エミフル

監事 大野 聖史

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。